



令和7年2月28日 京都市立陵ヶ岡小学校 校長 奥野 利一

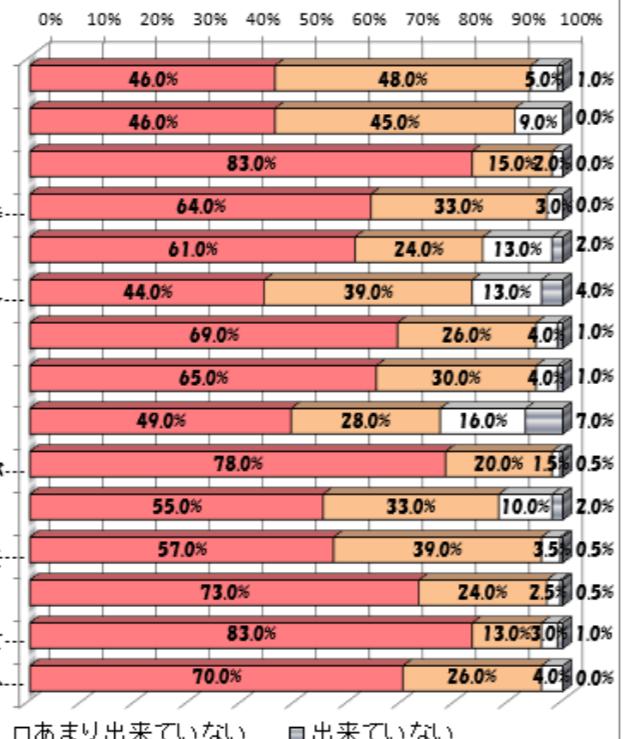
3月臨時号

学校教育目標

自ら探究し、つながり合い、未来を拓く陵ヶ岡の子
～探究力・人間力・自分力(3Motto)を育む陵ヶ岡教育の創造～

令和6年度 第2回 児童

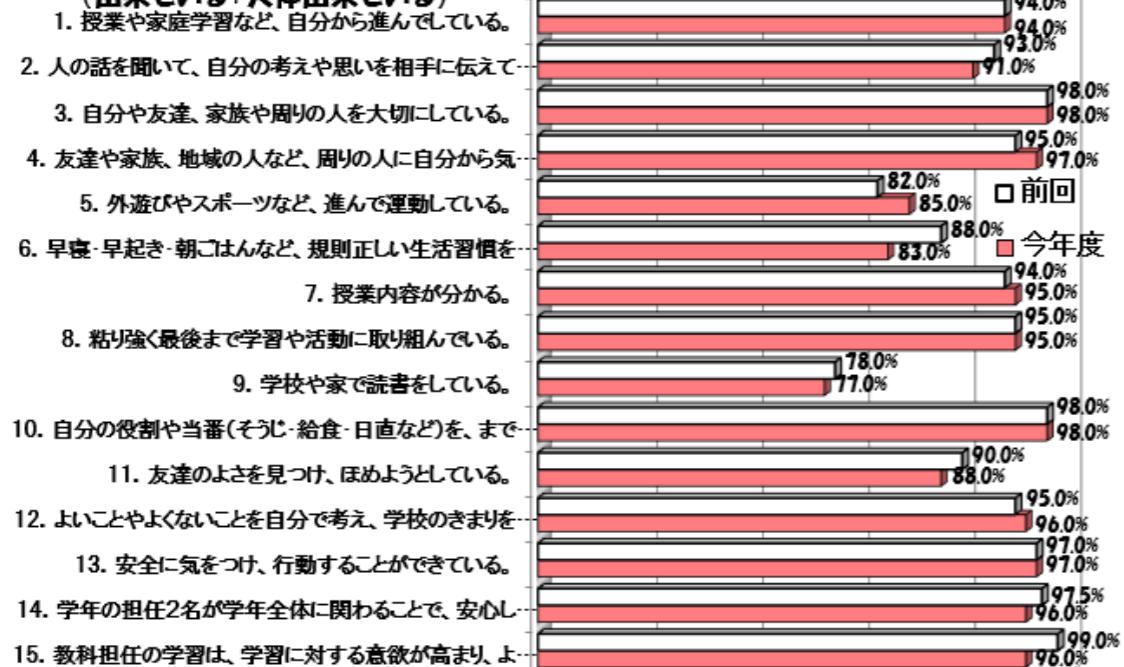
- 授業や家庭学習など、自分から進んでいる。
- 人の話を聞いて、自分の考えや思いを相手に伝えている。
- 自分や友達、家族や周りの人を大切にしている。
- 友達や家族、地域の人など、周りの人に自分から気持つ。
- 外遊びやスポーツなど、進んで運動している。
- 早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活習慣を身につけています。
- 授業内容が分かる。
- 粘り強く最後まで学習や活動に取り組んでいる。
- 学校や家で読書をしている。
- 自分の役割や当番(そうじ・給食・日直など)を、まだがんばっている。
- 友達のよさを見つけ、ほめようとしている。
- よいことやよくないことを自分で考え、学校のきまりを守っている。
- 安全に気をつけ、行動することができている。
- 学年の担任2名が学年全体に関わることで、安心していられる。
- 教科担任の学習は、学習に対する意欲が高まり、よく分かっている。



■出来ている ■大体出来ている □あまり出来ていない □出来ていない

前回(今年度7月)と今年度12月の比較

(出来ている+大体出来ている)



第2回学校評価アンケートの集計結果について

寒さの中にも春の訪れを感じる季節となりました。平素は本校教育活動の推進にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。12月に実施した第2回学校評価アンケートの結果をご報告いたします。前回同様に、3校(花山中・鏡山小・陵ヶ岡小)で統一した項目(1~6)と、本校の学校教育目標に照らして学習面や生活面を振り返る項目の結果で様子をみていきます。「2月臨時号」では、主に現況や第1回(7月)の結果との比較、今後の方向性等についてお伝えしたいと考えております。お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

☆児童のアンケート結果より

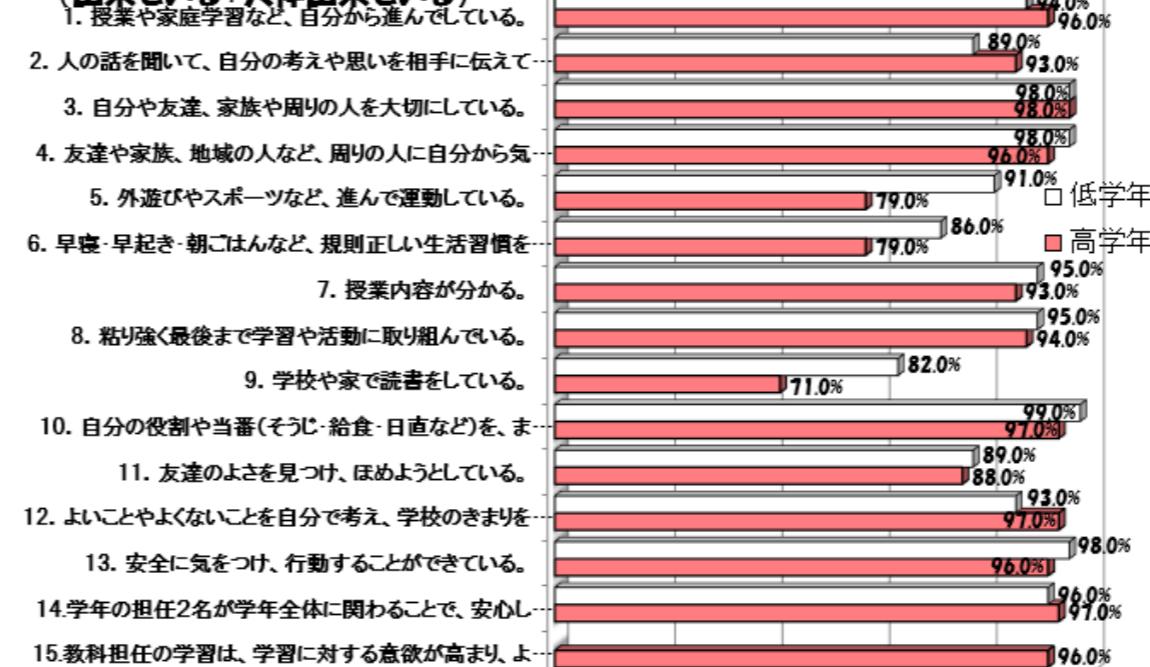
第2回アンケート結果(左記)の15項目中11個の項目が、90%程度「できている・おおむねできている」となっています。この結果から、児童の多くが安定した学校生活を送っているといえます。特に、「自分や友達、家族やまわりの人を大切にしている」「自分の役割や当番を最後まで頑張る」で学校全体の数値が高いのは、本校が育てたい資質・能力である「人間力」や「自分力」が高まっている証であり、誇るべき結果です。今後も人と豊かにつながりができる人間力を高め、自分の役割に責任をもち、自分で目標を決め、最後までやりとげができる自分力をさらに高めてほしいと思います。今後も未来を自分で切り拓く力高めようと頑張る児童の姿を本校独自の取組であるSunlightの取組を通して児童の頑張る行動を見える化し、学校・家庭・地域が連携して児童を見守り、励ますことができれば幸いです。

また、今年度より追加した「学年の担任2名が学年全体に関わることで安心して学校生活科を送ることができる」「教科担任の学習は、学習に対する意欲が高まる」については、「できている・おおむねできている」がどちらも96%の結果となっています。7月に実施したアンケートと比較すると数%の変化はありますが、学級を基盤としつつ学年全体を2名の担任が関わることでは、児童の安心につながっているといえます。また、3年生以上の学年は、教科担任制に取り組んでいます。担任以外の教員が担当する教科を指導することで、児童の学習に対する意欲の高まりにつながっているといえます。今後ともこの2つの体制を基盤としつつ、継続していくことで児童にとってより安心して過ごせる学校となり、安心して過ごせる学校は、より前向きに学習に取り組む態度を育み、本校が育てたい資質・能力である「探究力」が育成されると考えます。

しかし、気になる項目として、「早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活習慣が身に付いているか」は、前回より5%下がっています。特に、低学年と高学年を比較すると、高学年になるにつれ、規則正しい生活習慣が崩れていることが分かります。不規則な生活習慣は、成長期にある児童の心と体の成長に大きな影響を与えます。寝不足は、授業に集中できず、学習内容の理解や定着に影響し、学習に対する意欲を著しく低下させます。これからも児童が規則正しい生活習慣を身に付けることができるよう学校・家庭・地域で協力し、一人一人の児童の成長を支えていきたいと思います。

令和6年度 第2回 低学年と高学年

(出来ている+大体出来ている)



☆今後の方向性と取組

今回の結果を踏まえ、例えば下記のような取組を実践するなどし、児童の変容を促したいと考えます。

【主体性・対話力を高めるために】

- ・往復半以上ある「やり取り」を大切にした授業
- ・社会性を育むソーシャルスキルトレーニング
- ・「ふり返り」から次の問い合わせ児童自身が生み出す授業

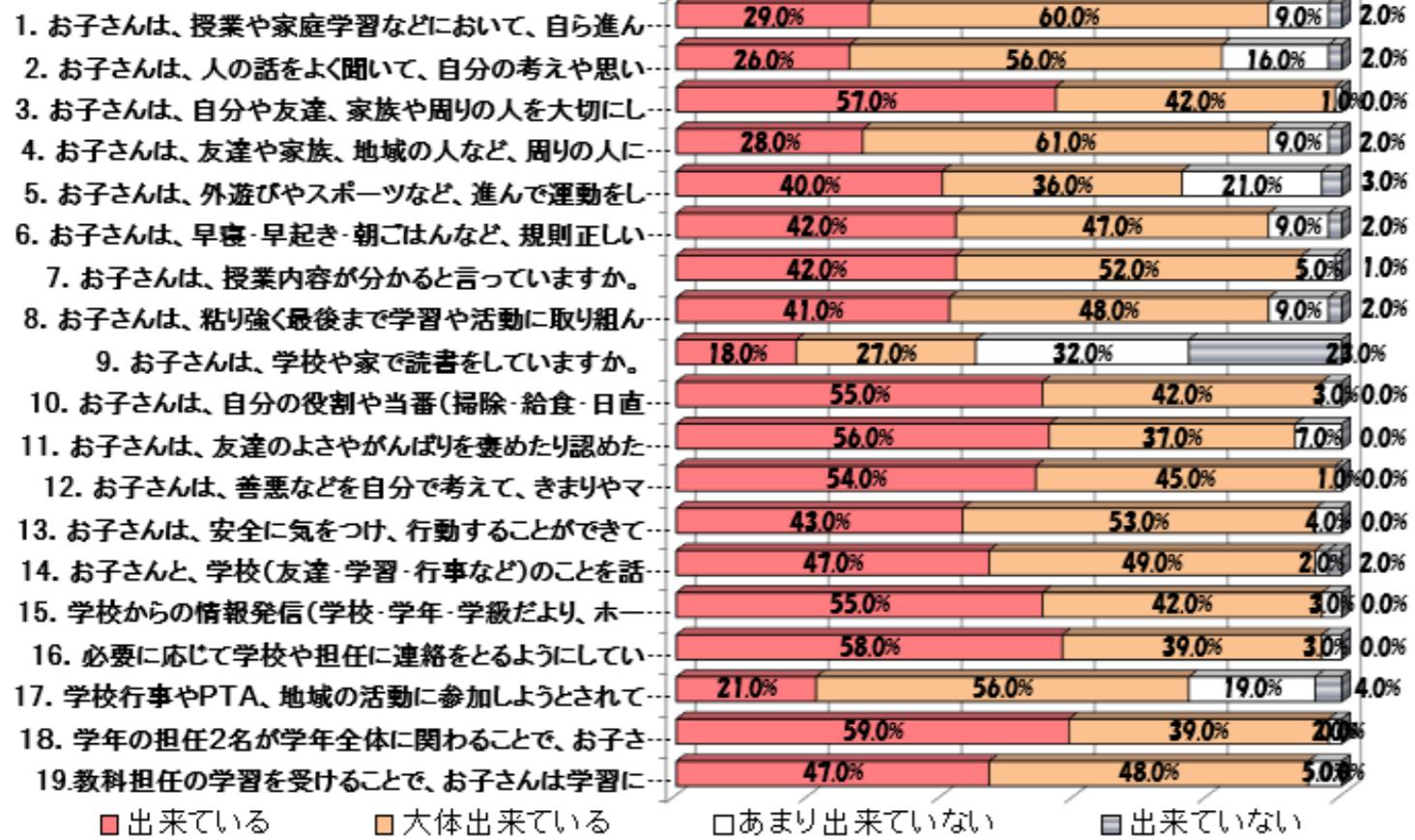
【読書への関心を高めるために】

- ・朝読書と図書ボランティア、タヤケ図書館による図書館の開館や読み聞かせの継続
- ・○○のおすすめ本紹介
- ・委員会の多様な企画（読み聞かせ、読書会、しおり作成等）

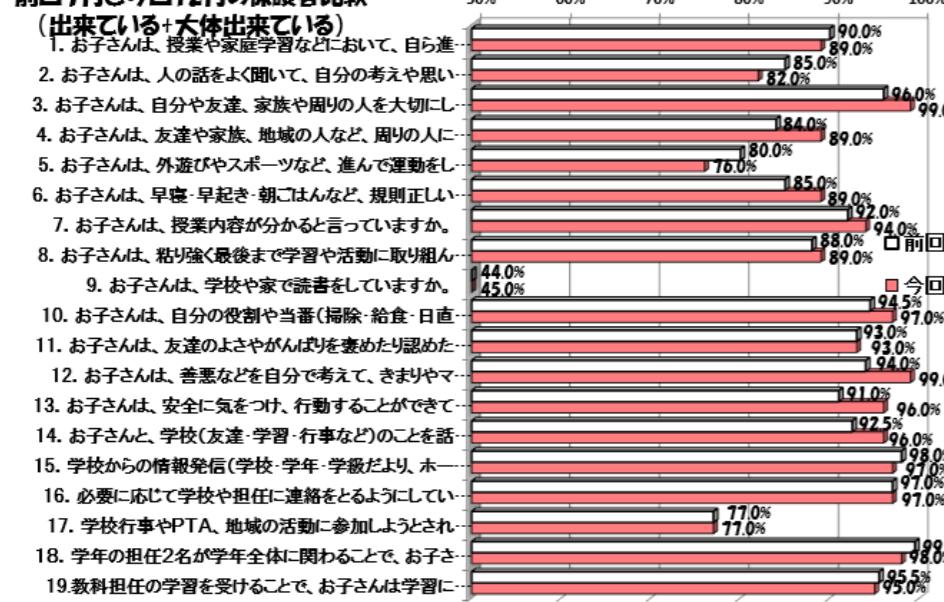
【運動・規則正しい生活を意識するために】

- ・外遊びの推奨(学級・学年・学校単位で実施)
- ・長期休業中・長期休業明けの生活習慣の確立に関する取組の継続

令和6年度 第2回 保護者



前回7月と今回12月の保護者比較



☆保護者アンケート記述欄より

お忙しい中、貴重なご意見を寄せていただきありがとうございました。頂戴したご意見は、今後の学校改善に活かしてまいります。全てをご紹介することは紙面の都合上叶いませんので、代表的なご意見をいくつか掲載いたします。

- ・子供達がのびのびと活動できています。先生方の温かいサポートと、地域の方々との連携のおかげだと思います。
- ・いつもありがとうございます。3年生が陵ヶ岡について調べ、発表する授業がとても良かったです。自分達の住んでいる地域に自信をもち、歴史についても自然に興味が湧くのではないかと思いました。
- ・学校の全ての先生がどの子にも声をかけて下さり、全ての先生で子ども達を育てて下さっている毎日に大変感謝しております。楽しく学び、みんなで認め合い本当に素晴らしい学校だと思います。この環境で学校に通えている事に感謝しております。いつも子どもたちのためにありがとうございます。
- ・校長先生から学校担任、PTA おやじの会と皆が連携を取り楽しい学校作りを心掛けている事にとても感謝しています。
- ・学校の HP も常に最新で、親として学校内のがよく判り安心できます。

☆保護者アンケート結果より

アンケート内容が児童と保護者で共通しているのは上段13項目です。「出来ている・大体出来ている」が、児童は9割程度、保護者の皆様は8割程度のご回答でした。

「9. 読書」については、「出来ている・大体出来ている児童は7割強という結果でした。しかし、保護者の皆様の回答では、4割という結果でした。この結果から、児童は学校では読書をする傾向はあるものの、家では、読書をする傾向が低いのではないでしょうか。家では、読書よりテレビやゲーム、インターネット、YouTube、SNSなどの時間が増えているのかもしれません。読書は児童の成長に大きな効果をもたらします。国も子どもの「読書離れ」を危惧しています。1ヶ月に1冊も本を読まない「不読率」の割合は、年々上がっています。小学生のうちに読書習慣を確立することが大切です。身近な人が「読書を楽しむ姿を見せる」など読書への誘いを意図的に行ってみるのも一案です。日々の忙しさや生活のデジタル化を理由に読書から距離が生じてしまっているご家庭は是非この機会に、読書に関わる取組を取り入れていただければと思います。学校としても児童が読書に親しむ機会をさらに設定し、児童が進んで読書に取り組める環境を整えていきたいと考えています。

「15. 学校からの情報発信」については前回同様9割強と高い結果となりました。デジタル連絡ツールである「すぐーる」の定着が要因と言えそうです。本校の設定率は100%と非常に高く、ご理解・ご協力に感謝申し上げます。欠席の連絡をしたり、プリント類や連絡事項をお手持ちの端末で簡単に確実にご確認いただけたりする機能は、大変好評をいただいております。また、ホームページに児童の様子を掲載することで、保護者の皆様に日々の様子をお伝えしています。引き続き、本校のホームページを検索していただき、児童との会話に生かしていただけたらと思います。

今年度より追加項目としてお尋ねした「18. 19」の項目に関しても前回同様9割強の結果となりました。学級を基本しながら学年としてつながりを深める取組を今後も継承していきたいと思います。

【こんな取組をしてみませんか？】

子どもがより充実した学校生活を過ごせるように、例えばこんな取組をご家庭でも取り入れてみてはいかがでしょうか？

«読書好きな子に！(案)»

*家族で「10分読書」

*地域の図書館にお出かけ

*デジタルデトックスデー(TV・PC・ゲームなしの日)

*私のおすすめブック

«進んで学ぶ子に！(案)»

*取り組んだ家庭学習の「いいところ見つけ」

*大人も共に一緒に楽しく学ぶ

«よりよい生活習慣へ!»

*就寝前は画面を見ないようにし、良質な睡眠へ

*早起き＆登校時間(8時～8時20分)までの朝学習や朝読書

*親子ウォーキング・ランニング

学習ボランティア RSST(Ryogaoka Study Support Team)の活動について

畠の先生方には、1年間を通して校内菜園体験活動をサポートしていただき、玉ねぎ、じゃがいも、さつまいも、大根、かぶの収穫体験をすることができました。部活動の先生方には、バレーボール、サッカー、ランランクラブ、和太鼓を指導していただき、児童の技術向上をサポートしていただきました。2名の歴史の先生方には、京都の歴史・産業や陵ヶ岡の歴史について教えていただきました。5・6年生は、京都ジュニア検定の学習と関連付けて教えていただきました。3年生は、総合的な学習の時間で陵ヶ岡学区の歴史について教えていただきました。料理の先生には、5・6年生の調理実習や2年生のさつまいもの調理をサポートしていただきました。本当のありがとうございました。来年度もRSSTを募集します。是非、本校の児童のために、ご登録いただければ幸いです。